

勞は假令一旦治愈せし者と雖も爾後に於て再發する者亦少からず。斯かる點に鑑み、傷痍軍人對策は恒久的繼續的なる取扱いを要し、傷痍軍人の終生を一貫して懇篤なる看護輔導を必要とする事。八、傷痍の種類性質は多種多様なるのみならず傷痍軍人各個の症狀乃至機能障害も亦一律に論おべからず、斯かる點に鑑み、且つ傷痍軍人の先天的能力、職業的經驗、社會的地位、趣味、希望等の複雑なる諸事情を斟酌して傷痍軍人對策は各個の場合に夫々適切なる取扱いを要すること。九、傷痍軍人對策の實施に當りては金錢報償主義を避け傷痍軍人の福祉を中心とし、生活本位の趣旨を

徹底せしむること。

- 一、傷痍軍人保護對策として身心傷害の回復治愈を圖るは勿論なれ就中生計能力の減失を極力補填回復するを以て本旨とすべしと、即ち其の就職問題を中心に考慮すること。
- 二、傷痍軍人の出身社會層別に從て起ることあるべき環境上若くは處遇上の不平等不公平を能く限り合理的に調整する途を講ずること。
- 三、傷痍軍人對策の實施に當りては其の家族關係を重視し、常に温情ある家庭的雰囲気の中に問題の解決を圖ること。
- 三、傷痍軍人に對して精神的並に物質的に凡ゆる優遇